

衆議院議員 亀岡よしたみ 活動報告

10月号



8/26(金) 文部科学部会長として初の部会運営
概算要求をまとめた。



8/24(水) 文部科学部会長に就任
全14部会長が集まり顔合わせ、意見交換。

Topics!!

自民党政務調査会 文部科学部会長就任!!

政務調査会 文部科学部会長の仕事

政務調査会とは？

党の政策の調査研究と立案を担当し、審議決定をする。自由民主党が採用する政策、国会に提出する法案は、政務調査会の審査を経なければならない。

部会長とは？

政務調査会に14ある部会それぞれのトップであり、部会での意見を取りまとめる重要な役割。大臣経験者がその職を担うこともある。

文部科学部会とは？

教育、スポーツ、文化、科学イノベーション関連を議論する。今年は、「未来への先行投資」と位置づけ「一億総活躍社会」の実現に向けて強力に推進する。原発廃炉に向けての仕事にも大きく関わる。

8/30(火) 政調審議会で手腕を発揮する！

政調審議会とは？

政務調査会の決定機関として、政調審議会が置かれる。各部会長が取りまとめた概算要求を政調会長へ報告する。政調審議会で決定された政策は速やかに総務会に報告し、決定される。文部科学部会の要求は昨年はスムーズに審議会を通らなかったが、今年は亀岡が手腕を発揮しスムーズに要求を通した。



不戦の誓いを守り続ける そして、国民の命と平和な暮らしを守り抜く



終戦記念日 8月15日

福島県護国神社 終戦記念英霊感謝祭に参列し、英霊の御霊に哀悼の誠をささげる。変わりゆくこの世の中でも忘れてはいけないことが沢山ある。このご時世色々な犯罪が増え、自分を守りたい気持ちが高まる中、思いやりのある社会をつくり続けるのは容易ではない。真の教育を我々が必ず次の世代へ繋いでいく覚悟でこの国会議員という職を全うする。そんな中、北朝鮮のミサイル問題ははじめ、わが国を取り巻く環境は日々一刻と変化し、様々な脅威にさらされている。我々が望むのは「平和」だけであり誰も戦争なんて望んではいない。我々は先人が創りあげたこの尊い平和を命懸けで守る為に一番良い手段を常に議論していることを忘れないでほしい。

津波被害から立ち上がる新地町の皆様と創りあげる福島県の未来

8月18～19日新地町
議研修会の案内役として
各担当者との会議を設け
た。6つの省庁から担
当者を招き2日間過密ス
ケジュールで勉強、また
国の各担当者に地域の現
状をよく知ってもらい
い機会であった。



8月6日

第6回新地町やるしか
ねえ祭「震災大津波の
被害をうけた新地町を
もりあげなければ！」と
地元の若者たちが立ち
上がり素晴らしいイベ
ントが夏の風物詩とな
った！素晴らしい！

汗が止まらない！福島は夏は熱かった！！



8月5日 福島わらじまつりが盛大に開かれ福島市内は大いに盛り上がった！今年は妻まゆみと二女まなみも商工会女性部の皆様と一緒に踊らせていただいた。



8月20日 伊達市合併10周年記念フェスティバル「だてな太鼓まつり」にて

スポーツでつながる輪！今年は久々に野球を頑張りました！



第60回福島市民体育祭総合開会式 個人のプライドもかけて頑張ろう！



第56回伊達ももの里マラソン大会開会式前夜祭 全国より多くのランナーが集った！



第10回記念24時間ソフトボール大会 始球式ならぬ始打式でヒットを放つ！



第6回絆甲子園大会 始球式を務めた！捕手にホープスの岩村監督、全国各地から多くの選手たちが集まっていたき今年も素晴らしい大会となった！頑張れ！未来のオリンピック選手達！



飯坂温泉杯改め亀岡杯還暦野球大会での始球式

チャリティイベントで福祉施設へ寄付



9月2日 チャリティゴルフコンペを開催したところ約300名の多くの皆様に御参加いただき今年も¥120,712もの寄付が集まった。今年も社会福祉法人青葉学園神戸信行園長にお渡しした。多くの皆様に支えられてのイベントである。会の終わりにには皆様に誕生日ケーキで少し早めのお誕生日を祝っていただきました。

写真は長男偉一、二女まなもと

福島市が一体となった呑んでラリー 福島JCT～大笹生IC 開通

8月31日

第11回福島2016きて！みて！呑んでラリーが街なか広場に今年も盛大に開催され、事務所スタッフ全員で参加！！熊本へ届け福島之恩返し！として、街中を巻き込んだ経済効果の高い素晴らしいイベントだった。



9月11日

東北中央道福島JCT～福島大笹生IC間が開通。先代の時代からの悲願でもあり、これからの経済の基盤となる周辺や相馬間の整備も迅速に進めて、強い決意でピンチをチャンスに変える復興を成し遂げる。

「再生可能エネルギー先駆けの地ふくしま」実現にむけて



9月6日 2040年に県内のエネルギー需要量の100%以上を再生可能エネルギーで生み出すという高い目標を設定している福島。

再生可能エネルギー社会の実現はまさに福島の新たな未来への挑戦である。その第一歩となる勉強会のコーディネイトを務めさせていただいた。押し付けでなく、民が動き出し新たな生産拠点と産業を創り上げ、復興と経済活性化につながるものと確信した。

相馬市 水産種苗研究・生産施設建設へ

9月6日

水産種苗研究・生産施設建設工事安全祈願祭・起工式に出席。同施設は元々震災前によくヒラメなどの研究成果が出始めたところだった。しかしあの地震と大津波により全壊してしまった。ようやく相馬での再開への道筋がつくられた。この施設が新たに漁業の夢と希望を育み、漁業関係者のみならず市民県民から国民への食文化の橋渡しになることを確信した。一歩ずつ一歩ずつ国と県と市町村がスクラムを組み、復興創生への前進を続けている。



託します！夢！国会見学にくる子どもたちへ



修学旅行のシーズンになると、地元の小学生や中学生が国会見学に来てくれる。「皆さんは2020年の東京オリンピックに向けて可能性を秘めている！そしてその可能性を開花させるために日々の学習があるので勉強を嫌がらずに頑張ってください！そして、愚痴こぼしや人の悪口は自分に対して頑張らなくていい言い訳をつくることになるので絶対にやめてほしい。」といつもお願いをしている。

2020年東京オリンピック in 福島 野球・ソフト誘致活動



8月31日 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会森会長のもとへ内堀知事とともに追加種目となる野球・ソフトボールのゲームと合宿を福島県へ誘致することを要望。2020年は復興した姿を世界へアピールできるように頑張る！そして、福島の子もたちがオリンピックを身近に感じてこの福島から未来のスターがたくさん誕生することを強く願い、前進あるのみで活動が続ける。

(右写真) 左より亀岡、内堀雅雄福島県知事、森喜朗会長、布村幸彦副事務総長、室伏広治理事

福島復興へむけて一歩ずつ前進！

●川俣町山木屋地区の避難解除時期の調整 ●十六沼公園屋根付き運動場オープン



川俣町山木屋地区の避難解除は地元自治会が来年3月末への延期を要望したのを受け、町は目標を撤回して町議会などと再協議。来年3月に避難解除目標となった。8月1日に国にそれらを盛り込んだ要望書が届けら

れた。国と県と町一丸となって生活環境の整備を進められるように、今後も全力で働く覚悟だ。

写真：川俣町の仮設住宅 山木屋地区の皆様の話を聞く

●飯館村交流センターふれ愛館オープン



8月13日飯館村交流会館の会館記念式と同時に「ふれ愛館」という名称が披露された。高齢者に配慮し広い土地を利用した一階建てで屋根裏を利用し絵本の隠れ家も設置され子どもも利用できる。2重行政で頑張る皆

様を支える思いでホール天井には20本の丸太が組まれ、玄関に設置されたブロンズ像は、絆をテーマに家族が手をつないで愛をはぐくむ飯館「までき」につながる人の優しい心を表現している。

●相馬野馬追祭 騎馬会後援会として騎馬武者の皆様の支援を続ける



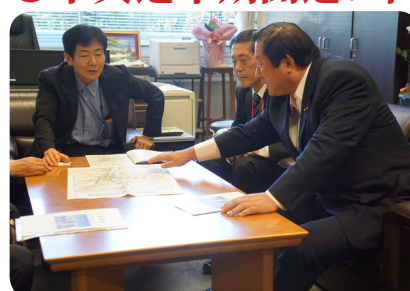
2011年東日本大震災で開催の危ぶまれた相馬野馬追祭の騎馬会後援会を立ち上げて以降、毎年支援は続け、今年で震災後6回目の野馬追を迎える。今年、7月7日騎馬会後援会から軍者の皆様へ協力金を手渡し、各騎馬会の肩章交付式、出陣式に出席し成功を祈念した。野馬追当日騎馬武者行列から騎馬会後援会へ述べられた感謝の口上は復興への決意に満ち溢れていた。



8月28日 福島市十六沼公園屋根付き運動場がオープンし、落成式に出席してまいりました。政務官任期中から予算確保のために働いた本事業がこうして形となった事は嬉しく思う。天候に左右されず、

子どもたちはもちろん多くの皆様に活用いただき、生活をさらに豊かなものにしていただければ幸いだ。子どもの為のこうした施設をフルに活かせるまちづくりを今後も進めていきたい。

●中央道早期開通に向けて



8月26日 福島伊達相馬米沢要望活動の案内役として望月義夫幹事長代理、復興庁西脇事務次官、国交省 大野泰正政務官 武藤事務次官、移動の空き時間に栗田都市局長はじめまちづくり担当の方々との研修をしていただいた。こうした活動のほとんどは私が案内役として仕事をさせていただいている。役所も党の仲間もそれに応えていつも開通前倒し等の結果を出してくれている。